

## ファンタスティック トリオⅡ HARMONICA SOPRANO & ACCORDION

我が心のフォスターと日本の抒情歌+ピアソラ

2024年11月17日(日) 古賀政男音楽博物館けやきホール 開演 13:30



古賀政男  
博物館けや  
きホールへ  
足を運ぶの  
は初めてで  
す。小田急線、

東京メトロ千代田線「代々木上原」駅より徒歩3分、井の頭通りに面していてわかりやすく便の良い場所でした。

1部:デュオ(ハーモニカ/崎元譲・アコーディオン/大田智美) 進行・解説(大城みほ)

プログラムの1部は、《懐かしの抒情歌のリクエストがあることから、小学校の音楽教育に数多く取り上げられている心に残るフォスターの曲6曲と、ピアソラの「忘却」「リベルタンゴ」の2曲と紹介》。(全て、編曲:美野春樹)

プログラムの解説によると、スティーブン・コリンズ・フォスターは1836年にアメリカで誕生、37歳の若さで亡くなりました。独学で作曲の勉強をしたとあります。今回は、1844年最初に出版された歌曲「恋人よ窓を開け」で始まり、亡くなる1864年に作曲された、最後の作品「夢見る人」までの6曲を演奏します。(プログラムより一部転記)

1部は、ソプラノの大城みほさんが1曲ごとにステージで解説しながら進行します。

1曲目「恋人よ窓を開け」。筆者にはこの曲が音楽の教科書に載っていたか記憶はない。♪恋人よ窓を開けておくれ、ぼくの歌を聴いておくれ...



れ... そんな歌詞の解説です。

朝靄の中静かに霧が晴れていくような情景のメロディです。

(1部の大城みほさんの衣装は、プログラムの表紙の写真と同じ着物でした)

ハーモニカは、大きな音の出る楽器ではないけれど、ホールの音響がよいのかマイクを使わずにとっても良く音が届いていました。2曲目「オールド・ブラック・ジョー」以下「草競馬」「金髪のジョニー」「懐かしきケンタッキーの我が家」「夢見る人」の順に演奏されました。

「オールド・ブラック・ジョー」は、ハーモニカがメロディを吹き、アコーディオンは別な旋律で支えます。「草競馬」はコミカルで軽快な編曲で楽しめます。お互いに抜きつ抜かれつの情景が見えてきます。「懐かしきケンタッキーの我が家」は、ゆったりと時間の流れる演奏で、夢の中の情景です。うとうとと眠りに誘われてしまいそうでした。幼い頃を想い出しているのか目をつむって聴いているお客さんも見られました。フォスターのプログラム最後は「夢見る人」。

続いてはタンゴの世界。《美野春樹編曲の「忘却」を聴いたある評論家が、この曲はバンドネオンで書かれた曲だけれど、まるでハーモニカとアコーディオンのために書いたようだと書かれたと紹介》。

そしてハーモニカについて解説。《今日使っているハーモニカはクロマチックハーモニカで、半音を出すレバーが付いていてフルートとオーボエの楽譜であればほとんど演奏できる。また、4穴の飲み込んでしまいそうな小さなハーモニカでも演奏できる》と実際に「オースザンナ」を吹いて見せた。解説の後演奏されたのは「忘却」と「リベルタンゴ」の2曲。

「忘却」を演奏し終えたところで、アコーディオンについての解説がありました。

発音に使われているリードはハーモニカと一緒に、楽器に合わせて縦に取り付けてある。ハーモニカとの違いは、リードを振動させるために、口で空気を吹き込むか、蛇腹で空気を送るかの違い。また、アコーディオンのハーモニカには蓋が付いていて、鍵盤やボタンを押すと蓋が開き、この蓋が開いているときに、蛇腹を

使って空気を送ると、リードの付いている穴に空気が入り込むので、リードが震えて音が出る。指を離すと穴は閉じられる。

また、バンドネオンとの違いについても解説。一番の違いは、持ち方、アコーディオンは両腕をバンドに通して楽器は胸に抱えるけれど、バンドネオンには肩にかけるバンドはなく、右手左手とも同じように手首を支えるバンドに通す。そしてジャバラを動かす操作も、アコーディオンは左手を使い、バンドネオンは両手を使って広げることができる点も違いと言える。

あと、大田先生の使っている楽器はフリーベースなので、左手のボタンでもオクターブの音階が出ることの実演、また、アコーディオンという楽器の名前の由来にもなっている、和音(コード)が1つのボタンで出せるようになっている等、解説されました。そして「リベルタンゴ」の演奏です。ハーモニカが旋律を、アコーディオンがベースを刻みます。

1部でもアンコールがあり「ラ・クンパルシータ」を演奏されました。

・・・15分程度休憩・・・

2部は、日本の四季に合わせた名曲や抒情歌を、トリオ(ソプラノ/大城みほ・ハーモニカ/崎元譲・アコーディオン/大田智美)で演奏する構成です。

2部は、おなじみの日本の歌をデュオ&トリオで演奏します。歌についてプログラムには、《海と山とビールを愛するソプラノの大城みほさんと紹介、懐かしい曲と共に心に残るひとときをお過ごしください》と記されています。(大城みほさんは衣装を変えて登場)

最初は「秋三題」秋にまつわる3曲(南安雄編曲)、♪赤とんぼ(ハーモニカとアコ)♪小さい秋見つけた(歌とアコ)♪紅葉(ハーモニカとアコ)。続いて「里の秋」美野春樹編曲(トリオで演奏)。《「里の秋」は平成19年、日本の歌100選に選ばれたと解説》。続いての曲「待ちぼうけ」(歌とアコ)の歌詞は、《中国の説話から採られており、意味は日本のことわざ「棚からぼた餅」に似ていますと解説》。

次は「月の沙漠」(トリオで演奏)。アコは柔らかいベースの後にコードをチャーチャーとちょっと長めに、やさしく流していました。歌

手は途中客席に降りて通路を回りながら歌ったので、近づくとき大きな声で聞こえるのかと思っていただけ、ステージでの歌と差を感じなかったのは、ホールの構造によるものなのか、ちょっと不思議でした。舞台奥の反響板はオーバーハングのように上部が客席の方へ張りだした変わった形をしていました。



横から見た形  
編集部

写真：ホームページより(トリミング：編集部)

続いての曲「早春賦」(美野春樹編曲)の演奏はハーモニカとアコ。次は「赤とんぼ」(増田順平編曲)。《日本の歌曲の中でもっとも知られている作品の一つ、心の中で歌うようにお聴きくださいと解説》(トリオで演奏)。最後は「故郷」。《日本人の心の歌です。親しみのあるメロディーが印象的です。と解説》。また、作詞者高野辰之の出身地長野県中野市と、作曲家岡野貞一の出身地鳥取県鳥取市に歌碑がありますとプログラムで解説。

ソプラノの大城みほさんは、故郷をうたうときは手話を入れて歌うと言います。故郷を手話では、お腹の前に両手を出し右手の平を下にして、指も下に向けて下へ押し出すように動かします。お母さんのお腹の中から生まれたところが、すなわち故郷だと説明します。

プログラムが終了し、大きな拍手で、アンコールは「おおスザンナ」、一度退場するも拍手に誘われて再び登場し「北風小僧の寒太郎」をうたい、客席の手拍子と“寒太郎”とうたうところはこだまを返し、最後は演奏しながら舞台下手へ列になって退場するパフォーマンスもあり、にぎやかに幕を閉じました。

1部、2部共にマイクを使わずに生の音を聴いたので、聴く方もそれだけ耳を澄まして聴いていたようです。

2部の大城みほさんの歌はお母さんが赤ちゃんの目を見つめて語りかけるマシュマロのような香りの声が印象的でした。(記：乙津)

大谷環 大城みほ 大田智美  
三大トリオ クリスマスコンサート 2024

12月7日(土) 開演 14:00 会場：田端楽友協会(30席限定)



12月7日(土) ちょっと早いクリスマスコンサートに出かけてみました。会場は、JR「田端」駅北口から2分ほどのビル「スタジオ・アンダンティーノ」1階にありました。

(地図：チラシより転写、写真：主宰提供)

筆者は、この3週間ほど前になる11月17日(日)、古賀政男音楽博物館けやきホールで行われたコンサートを聴いていました。その時は、崎元譲(ハーモニカ) 大城みほ(解説・うた) 大田智美(アコーディオン)のトリオでした。(〇〇ページ参照)このとき大城みほさんは童謡を歌われていたのですが、赤ちゃんに語りかけるような柔らかい声に魅力を感じていました。

そこで配られたプログラムに今日のチラシが挟まれていて目にとまりました。クリスマスコンサートの方の演奏曲は、童謡とは違ったまた別の世界の曲で、30席限定というミニスタジオでの演奏です。より身近な位置で聴くことができる贅沢な企画なので席が取れたのはとても幸運だったと思います。楽しみに当日を迎えました。

始めに、進行役の大城みほさんから演奏者の紹介がありました。☆大田智美(アコーディオン奏者/お菓子係と



紹介、途中休憩時に飲み物とお菓子が後ろのテーブルに用意されました)

☆大城みほ(会場作

り・歌)。左段下写真は、ピアノの上に置かれた大城みほさん手製の飾り。☆大谷環(カメラマン、兼、雑用、ギターと紹介)。今日のメンバーを、三大トリオと書いてあるけれど、三大(いずれも名前に「大」の付く、「サンオオ」)トリオなんです。と紹介するなど早速会場をなごませていました。

プログラムは2部構成で、【第1部】前半はクリスマスにちなんだ曲を演奏。最初の「主よ人の望みの喜びよ」について、『バッハと聞くと堅苦しいけれど、日本で言えば「小川さん」のような存在です』と解説。ギター、歌、アコーディオンで演奏。

『私たち結成25周年になり、カッチーニのアヴェマリア、は最初から歌っている曲で、大谷環さんの編曲です』と紹介。ギターと歌の演奏です。(写真下)



続くシューベルトのアヴェマリアも『ギターが弾くアルペジオに乗って歌います』と紹介。『ギターのために作曲したように聞こえますね』と大城さんの解説です。もう1つ、グノーのアヴェマリアはアコの伴奏で歌いました。

ここで、大田智美さんによるアコーディオンの音の出る仕組みや、出る音の特徴等解説がありました。

ピアノやギターは鍵盤を押したり、弦を弾けばそれだけで音が出るけれど、アコーディオンは、ボタンを押したただけではリードの入った箱

の蓋が開くだけで音は出ない。そこで、中央の蛇腹を広げたり閉じたりで空気をリードの付いている穴に送り込む必要があること、また、色々なスイッチを使い分けることで、感情の表現ができるなど解説されました。



楽器紹介の次は、「天使のパン」(アコ伴奏で歌)パイプオルガンのような音色でした。続いてカタロニア民謡「鳥の歌」を、やさしくきれいなギターの伴奏で歌います。もう1つ「マルセリーノの唄」もギター伴奏でした。(写真上)

続いての曲「カンタービレ」(N. バガニニ)以下3曲ギターとアコの演奏が続きます。「アヴェ・マリア」(A. ピアソラ)でのアコーディオンは右手ボタンだけで演奏していました。次の「カフェ1930」(A. ピアソラ)の曲は、ギターとフルートのために書かれたと解説。この曲も、ギターとアコの演奏で、アコは右手だけで演奏していました。初めて聴いたけれど、音の重なりがきれいな曲です。(写真下)



## 【第2部】

第2部はギターソロで始まりました。曲はスペインの「オリエンタル」うっとり聴き入ってしまいました。次はアコーディオン・ソロで

「バチンの少年」(A. ピアソラ/中山英雄編曲)。次いで「ラ・クンパルシータ」をギターとアコで演奏。

このあと大城みほさんは大きな花柄の衣装に着替えて登場。2曲アコの伴奏で歌います。まず「アメイジンググレイス」もう1曲は「オー・ホーリー・ナイト」(写真下)



演奏はここまでで、この後ステージにホワイトボードを運び込み歌詞の書かれた模造紙を貼り会場のみなさんと一緒に、ピアノとアコの伴奏で♪もみの木 ♪荒野のはてに ♪赤鼻のトナカイ ♪冬の星座 ♪星の界(よ) ♪聖夜 など続けて歌い終了となりました。

大城みほさんは、このホールで隔週朝9時半～11時までうたごえを主宰しているとおっしゃっていたので、準備は慣れたものでした。



写真：コンサート成功に笑顔で記念撮影の三大トリオ

1曲歌ったところで、『みなさん、歌を歌う時の歌い方を教えてあげましょう。ニコニコ笑いながら歌いましょう。小さくてもニコニコすると声が出るんですよ』とアドヴァイス。

手の届く近さで、ライブハウスとはまた違った温かいクリスマスコンサートでした。

田端駅から会場まではゆるい登り坂なので、帰りはこの坂道をアンダンティーノの気分で歩き帰途につきました。(記：乙津)

## バラライカ・アンサンブル・ポーレ演奏会

2024年11月29日(金) 横浜市 金沢公会堂ホール 開演 14:00

ゲスト出演:

合唱:合唱団「道」 ピアノ:二宮悠太 アコーディオン:森陽介 ヴァイオリン:鶴田枝里  
パーカッション:山本晃弘

演奏:バラライカ・アンサンブル・ポーレ



指揮/ピアノ:小坂幸世 コンサートマスター:桜井至誠(プリマ・ドムラ) プリマ・ドムラ:岩村洋子 プリマ・ドムラ:今井純子  
アルト・ドムラ:池谷由加 プリマ・バラライカ:池澤利雄  
バス・バラライカ:田中俊也 コントラバス:田中紀大  
グースリ:掛川いずみ フルート:安部哲夫  
写真:プログラムより転写(トリミング:編集部)

プログラムは、途中休憩をはさんで「第1部」と「第2部」に別れ、衣装は上下黒で、胸に赤を基調にした鮮やかな花を着けて登場。定刻になるといきなり*f*(フォルテ)の力強い3拍子で「夢想」が始まった。美しいメロディーだけど、筆者には聴き覚えのない曲だった。

2曲目は、「ポーリュシカ・ポーレ」。草原の彼方から馬に乗って兵隊が颯爽と駆けてくる。そんな情景が浮かぶよく知られた曲です。

3曲目は「赤いサラファン」。この曲ではよく音が通ったフルートの音色が楽しめました。

続いて軽快な「長い道を」そしてバス・バラライカ、コントラバスの「ボン ボン ボン」と弾む音に乗せて「ラーラのテーマ」。

次から3曲は、マンドリン、ヴァイオリン、ピアノによる三重奏です。一つ目の曲「歌の翼に」は、メンデルスゾーン作曲で、二つ目の曲「オンブラ・マイ・フ」はヘンデル作曲だけれど、2曲を続けて聴くとどちらも落ち着いた子守歌のようなテンポの曲です。愛しい人が離れていく切なさを想いたらずんでいる足元の小川は冷たくキラキラ輝いている。そんな張り詰めた情景が浮かんでくるメロディーで、一つの曲を聴いているような錯覚を受けました。次の曲、三重奏最後はガーシュイン作曲の「スワニー」、どこか鎌田行進曲に似た軽快でウキウキしてくる曲です。(3曲とも玉木宏樹 編曲)

・・・休憩・・・

第2部は、「バラライカ・アンサンブル・ポーレ」の皆さん、上は白色に襟から胸にかけてY字にオレンジ色のテープの様な刺しゅうを施したシャツ。男性のズボン黒、女性はオレ

ンジ色のスカートで揃えて登場。演奏曲は「くるみ割り人形」(小坂幸世 編曲)バレエでもおなじみの曲です。

♪ドイツの寒いクリスマスの夜の出来ごとです...のように一幕ごとにナレーションが入り進行します。1.行進曲 幕間にナレーションが入り、2.コンペイ糖の踊り 3.トレパーク 4.あし笛の踊り 5.花のワルツ。

指揮者は、最初の行進曲で指揮を執ると次の「こんぺいとうの踊り」にはピアノで参加して、「足笛の踊り」で再び指揮に戻るなどリスのように身軽に動きます。一幕ごとに指揮者は指揮台から降りて拍手を受けていました。

第2部後半は、合唱団「道」を交えたステージに変わり衣装の効果もあって一層華やかになりました。1曲目は「ブドウ色のシヨール」。2曲目「あなたに会ったとき」3曲目「鶴」(ここまでの3曲は中山英雄 編曲)。最後の演奏「マイウェイ」は中川信良 編曲/中島潤 訳詞。「マイウェイ」にはヴァイオリンも入り、曲の最後はヴァイオリンとアコーディオンが力強く歌って締めくくる素敵な終わり方でした。

拍手がなかなか途切れず、アンコールに応えて演奏した「百万本のバラ」は、持っている力を出し切った演奏に筆者は胸が熱くなりました。指揮台から降り拍手の波の中にいる指揮者の素敵な笑顔が忘れられない。筆者の後ろの客席からも『よかったね!百万本のバラ!!』とお客さん同士での大きな声が聞こえてきた。

今日のコンサートで一番の収穫だったのではないかと思う演奏でした。(記:乙津)

## 第12回 めくもりコンサート 音楽センターアコーディオン科三多摩教室

2024年11月24日(日)14:00開演 ルネ小平 レセプションホール



あちこちでコンサートが開催される時期ということもあって、主催側から“お客さんが少ないのではと心配だ”と聞いていたけれど、開演時にはほぼ満席となっていました。2年かけて練習してきた成果の発表の場として第12回目を迎えた「めくもりコンサート」を聴いてきました。

写真右：ホール入り口に飾られた菊地さんの作品の1つ

写真左：受付に置かれたウエルカムボード。毎回素敵な画でお客さんを迎えてくれます。(写真：全て主催提供)

定刻になると、仮面を着け黒いマントを翻した怪人が颯爽と登場、迫力ある出だしに会場は一気にコンサートへ弾き込まれていきます。最初の曲は、タッタッタ、と小刻みに刻むバスアコのリズムに乗せた全員合奏「オペラ座の怪人」でした。(写真下) 指揮：全て川口裕志



すと紹介》。フレーズ感やリズムがしっかりしていて気持ちのよい演奏です。若い方なので次回も楽しみにです。

次はアコーディオン5台の重奏。演奏曲はピバルディ作曲「四季」より「冬」第2楽章(川口裕志編曲)。《全12楽章の中で最も美しい曲と言われ、雨のはじける音をバイオリンのピッチカート奏法で表現しているのが特徴で、それをアコーディオンで表現しているところが注目の一つ》と解説》。小鳥のさえずりに聞こえたところは雨のはじける情景だったのか。



アコーディオン五重奏:本荘 間野目 後藤 菊地 鳥塚



岩永 由旗夫 2番目は、独奏で「春風」(フォスター作曲、川口裕志編曲)。演奏される方は、《昨年5月に教室に入り、今回初めての参加と紹介》。プログラムに挟み込まれた「演奏曲目解説」では、《元々の題は「主人(あるじ)は冷たい土の中に」が近く、「静かに眠れ」の曲名もある。と解説》。筆者は唱歌で(吹けそよそよ吹け、春風よ、...)と歌っていました。おいくつだろうか、このような年齢になられてから練習に通われる姿に励まされます。両手を使ってとても素直な音で、他の曲も聴いてみたくになります。



新家 真紀

続いても独奏で「パリのお嬢さん」(川口裕志編曲)。演奏者は「春風」独奏の方と同じく、《昨年5月から通い始めたので初めての発表会で



茅根 恵子 次は独奏に戻り、曲は「アニー・ゼット」。《パリジが女性に捧げた曲で、パリ・ミュゼットの名曲と紹介》。三拍子の軽やかなリズムで恋人同士が手をつないでくるくる回っている、そんな甘い香りの漂う演奏です。



間野目 孝子

次はシャンソンの曲です。「パリの空の下」(川口裕志編曲)。《セー又川の流れるように弾けたらいいな》と、司会のコメントがありました。情景が浮かぶようでした。



鳥塚 みや子 独奏が続き、次は「イエスタディ」(川口裕志編曲)。《今日はあの美しいメロディへ案内できるように演奏しますと紹介》。ぐっと押さえるところ、ここははじけるところ、と丁寧に表現していて感情が乗ってくるとくちずさむところは彼女なりのリズムの取り方なのか。客席にいて聴きながらつつい“がんばれ!”って応援してしまいました。

前半の最後は、アンサンブル(三多摩ぼんぼこ)で「証誠寺の狸囃子」主題と変奏曲(川口裕志編曲)。狸の親子か兄弟か、ぬいぐるみを着て登場。パーカッションはお坊さんの衣装で正座で演奏します。《昨年9月の関東アコにアンサンブルの部で出場し、アイデア賞を受賞したと紹介》。(下の写真)

イントロはお経を真似て、中山晋平作曲の童謡を木魚、鐘、笛など使ってコミカルに演奏します。また、途中♪ジェンニ・リンドポルカと♪案山子を取り入れた楽しい編曲でした。



写真:左(石橋) 中央(後藤/パーカッション) 右(安藤)

15分の休憩を挟み、後半はプログラム9番からです。



デュオ「アコぶーぶ」(アコ2台+パーカッション)で「ビューティフルネーム」(川口裕志編曲)を演奏。アコーディオンの二人がおそろいの帽子をかぶるだけで雰囲気がいぶん

変わり楽しくなります。《1979年の「国際児童年」協賛曲で、音楽グループ「ゴダイゴ」の代表曲です。印税の中から100万円がユニセフに寄付されたと解説》。



安藤 直彦 次は独奏に戻って演奏曲は「ホバック」ウクライナ民族舞曲(ラース・ホルム編曲)。軽快なリズムで次第にテンポを上げコサックダンスのような踊りの情景が表現されていました。



菊地 毅 次も独奏で曲は「ラストワルツ」(川口裕志編曲・菊地毅改編)。《バラード歌手のエンゲルベルト・フンパーディンクが歌いヒットした曲で、愛した二人が最後にワルツを踊り分かれていくという内容ですと解説》。筆者のような歳には懐かしい曲です。

次は全員合奏で「青い影」(川口裕志編曲)。《バッハのG線上のアリアを想わせるメロディが出てくるけれど、途中でがらりと変わりますと解説》。弦楽器や管楽器のパートをアコーディオンで演奏するのは良く合っていて素敵です。最後はバスアコが蛇腹をいっぱい広げてのフィニッシュでした。(写真下)



本莊 雪子 再び独奏に戻り「シェルブールの雨傘」(中山英雄編曲)。《この曲は、フランスの港町シェルブールを舞台に、愛し合う二人の若者が、戦争によって別々の人生を歩まざるを得なくなった悲恋を描いた映画に流れる、美しく切なく、時に激しいメロディを持った曲です。》

私が生まれてから、日本が戦場になることは、ありませんでした。ところが現在、新聞やテレビ等で、戦争のニュースを見聞きしない日はないほどです。病院や学校もが攻撃対象になり入院患者や子どもたちの犠牲者も増えています。

誰もが生まれ持った命を平安に生きていける、そういう世の中になるよう、平和を願う気持ちをこめて演奏します。と紹介》。フリーベースでしっかりと演奏。



石橋 友子  
次も独奏で「カチューシャ」(中山英雄編曲)。《日本語の歌詞に出てくるように二人揃って穏やかな春を過ごすことができる世の中になるようにと強く願いながら心を込めて演奏します。編曲は、重音、変調、リズムの変化、ベースソロ、アルペジオ奏法などいろいろな形で演奏します。アコーディオンのおもしろさを感じ取っていただけたら嬉しいですと紹介》。

ロシア風の刺繍の入った衣装で登場。難しいアレンジを気合いよく弾ききったと感心しました。



次はゲスト、山田千賀子さんによるソプラノ独唱。

曲はアルメニア民謡

「つばめ」と「ノー・パサラン」(2曲とも伴奏：川口裕志)♪つばめよ どうして そんなに空高く飛べるのか...と歌います。

2つ目の「ノー・パサラン」は、《スペイン語で「奴らを通すな」の意味で使われるスローガンです、と解説。平和の歌をたくさん歌っている中で、いつも署名を呼びかけながら歌っている歌ですと山田千賀子さんによる紹介》。演奏後、教室生からゲストに花束が贈られました。

ここで、教室代表からあいさつ。

『今日演奏した曲は、皆様にぜひ聴いていただきたいと思って選びました。この先、皆様がどこかで本日の演奏曲を聴いたとき、今日のこの日を思い出していただけたら私たちにとっ

てこんなに嬉しいことはございません』と挨拶。また、スタッフの方、お客さんへのお礼の言葉を述べられました。拍手の後は、本日のプログラム最後 16 番めの曲となりました。

曲は全員合奏で「メリー・ポピンズ セレクション」(川口裕志編曲)。(写真下)



《魔法が使えて楽しいメリーポピンズと子どもたちの明るく楽しいミュージカルの中から、♪チムチム・チェリー ♪ひと匙のお砂糖で♪踊ろう調子よく ♪スーパーカリフラジリスティックエキスピアリドーシカス ♪2 ペンスを鳩に、の5曲をセレクトしたと解説》。

(拍手&アンコールの声と手拍子)にゲストの山田千賀子さんが加わり全員で「歓喜の歌」を演奏。会場の手拍子も入りにぎやかに、最後は次第にリタルダンド静かに幕を閉じました。



アンコール曲「歓喜の歌」の演奏

解説に書かれている時代背景や作曲者の感情を音で表現することはとても難しいことだけれど、それぞれが何かやろうとしていることの伝わってくるコンサートでした。(記：乙津)



スタッフと一緒に記念撮影

..... **ホワイトボード** (連絡はがきその他より) .....

関心ある方は、ホームページなどを開いて確認していただければと思います。

♪谷口・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪

<https://taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

タニグチ・サンデートークを動画で観ることができます。視聴可能な数が増えています。

♪かとうかなこ氏♪ <http://www.katokanako.com/index.html>

♪牧田ゆき氏♪ <http://www.planet-y.co.jp/makita/>

♪後藤ミホコ アコーディオンチャンネル♪ <http://www.mihoko-goto.jp>

TENGO コンサート ロシアレストラン「マリア」に於いて 2024年7月31日更新

窓から自然の樹木が見える素敵な部屋でチャールダージュ ブラームス「交響曲第三番三楽章」二つのギター ルーマニアの歌と踊り 等演奏しています。

♪「ともしび」よりおしらせ♪ 事務センター移転のため住所、電話番号が変わりました

[事務所、スタジオ・アガニョーク\(稽古場\)アクセス - ともしびグループ](#)

〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目21-11 高田橋ハイツ202 代表 03-6914-1621/FAX03-6914-1639

♪午後の音楽会 Vol.5♪ ~昭和ジャズから僕らの時代へ~ ◇三回シリーズの「第三回」

日時 2025年3月12日(水) 開場 13:30 開演 14:00

会場 杉並公会堂 小ホール ◇JR中央線、東京メトロ丸ノ内線、「荻窪」駅より徒歩7分

出演 鈴木直樹(クラリネット&サクソ) 田ノ岡三郎(アコーディオン)

神津善行 (スペシャルゲスト 作曲家)

シリーズ第三回の予定曲 インテンス〜ジェットイン・デデンより〜 他(変更になる場合がございます)

入場料 全席自由 一般3,600円 学生1,000円 ※3回シリーズの「第三回」

問合せ 鈴木音楽事務所 080-3368-8772 E-mail [ticket@suzukimusic.jp](mailto:ticket@suzukimusic.jp)

<https://www.music-suzuki.com/>

杉並公会堂 03-5347-4450 (11:00~18:00/休刊日除く)

チケットぴあ: 第3回Pコード 274-195

※その他演奏予定は、田岡三郎 <http://tanooka.net> 参照

♪大塚雄一&寺屋ナオ デュオコンサート♪ 大塚雄一氏 <http://www.hi-ho.ne.jp/acc-ohtsuka>

ボタンアコーディオンが奏でる旋律と、JAZZをベースに自由な世界を展開するギターの音色のコラボレーションをお楽しみください。

日時 2025年3月15日(土) 開場:13:00 開演13:30(終演14:30)

会場 ブックカフェデン ◇京王線「西調布」駅より、改札を南側に出て、徒歩約5分

※Den(デン)とは、小さな書齋、隠れ家、巣ごもり穴という意味です。いろいろな本、絵本、雑誌などを置いています。(ホームページより一部転記)

出演 大塚雄一(アコーディオン) 寺尾ナオ(ギター)

演奏曲 ♪パリの空の下(シャンソンのスタンダード) ♪ワルツ・フォー・デビー(ジャズ ビル・エヴァンス作曲) ♪カリオカの夜(ブラジルのショーロ) ♪群衆(アルゼンチン生まれのシャンソン) 他

会費 お一人2,000円(税込、飲み物・小菓子付き)

※定員18名(定員になり次第締切ります)

問合せ・申し込み Tel.042-488-4351/夜間042-486-5392 (11:30~18:30) ※月曜、火曜定休

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より) .....

♪東京アコーディオン研究会『内部発表会』♪

日 時 2025年3月16日(日) 開演 14:00(予定)

開 場 新宿区立牛込神楽坂箏笛会館5階 コンドル

入場無料 内部関係者対象ですが興味のある方はどうぞご観覧ください

問合せ 090-2176-3862(村上)

♪音楽センター・アコーディオン科 南部教室 修了演奏会「スプリングコンサート」♪ ■入場無料

日 時 2025年3月23日(日) 開場 13時30分 開演 14:00分

会 場 かわさきゆめホール(川崎中小業者総合センター1階)

◇JR南武線「向河原」駅より徒歩7分 駐車場が狭いので公共交通機関をご利用ください。

曲 目 ♪サウンド・オブ・ミュージック ♪ワルツ第2番 ♪ミライヤ

♪サクランボの実る頃 ♪カルメン組曲より ハバナ&トレア

♪ハンガリー舞曲No.4 ♪マドリール ♪ソナチネ 他

※ソプラノ独唱 フルート演奏など

問合せ 音楽センター教育部 TEL:03-3208-8377



♪やぎりんトリオ・ケルティカ×奈加靖子♪ ~アイルランド人・小泉八雲 怪談読み語り×音楽~

□セントパトリックデー・コンサート・・・アイルランド中を旅してキリスト教を伝えた聖人パトリックの命日(3月17日)にちなんだカトリックの祝日。「エメラルドグリーン」の島と称えられるアイルランドにちなみ、緑の衣装やグッズなどで祝う。

日 時 2025年3月25日(火)【昼の部】開場 14:00 開演 14:30(16:30終演)

【夜の部】開場 18:00 開演 18:30(20:30終演)

会 場 日暮里サニーホール コンサートサロン(定員100名) ◇JR「日暮里」駅南口より徒歩2分

出 演 奈加靖子(歌とアイリッシュ・ハープ) 田中麻里(アイリッシュ・ハープ)

清水アツヨシ(ギター、作曲) 八木倫明(アイリッシュ・フルートと訳詞)

河向貴子(読み語り)

予定曲 小泉八雲・再話 怪談読み語りとアイルランド音楽『猫を描く少年』 ♪広い河の岸边

♪庭の干草 ♪ダニーボーイ ♪ムーンダンス ♪モリー・マローン ♪木霊 他

協力券 全席自由 一般4,000円 学生500円 会員(チラシを見た方)3,000円

申込み 080-5379-4929 [やぎりん yagirin88@gmail.com](mailto:yagirin88@gmail.com) 主催:地球音楽工房(やぎりん)

♪第14回 音楽大学フェスティバル オーケストラ♪

今回のフェスティバルでは、大人になりかけた少女の目線で家族の姿を描いた武満徹の傑作「系図」と、シヨスタコーヴィチが30代に入るところに書いた野心的大作、「交響曲第4番」を取り上げます。これらの作品は、きっと若い人たちの心に自然と響くでしょう。

彼らの中に、音楽家として一生の宝物となる何かを残すお手伝いができたら、この上ない喜びです。沼尻竜典(チラシより転記)

日 時 2025年3月29日(土) 開場 14:15 開演 15:00

会 場 ミューザ川崎シンフォニーホール ◇JR「川崎」駅中央西口直結

出 演 井上悠里(語り) アコーディオン(大田智美) 指揮(沼尻竜典)

全席指定 2,500円(税込)

チケット ミューザ川崎シンフォニーホール チケットカウンター(/10:00~19:00)

044-520-0200(10:00~18:00) <https://muza.pia.jp>

東京芸術劇場ボックスオフィス <https://www.geigeki.jp/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp>

※未就学児のご入場はご遠慮ください(会場の託児施設をご利用ください:事前申込制・有料)

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より) .....

♪あじさいコーラス 40周年記念コンサート♪

日 時 2025年4月12日(土) 開場 13時00分 開演 13:30分  
会 場 大田区民プラザ 大ホール ◇東急多摩川線「下丸子」駅前  
出 演 合唱:あじさいコーラス・・・♪愛燦燦 ♪フィンランディア ♪母さんの手のひら 他  
指揮・伴奏 宮庄沙絵子  
ゲスト演奏 音楽センターアコーディオン科中部金曜教室  
入場料 (全自由席) 一般 1,000円 高校生以下・障がい者 500円  
問合せ あじさいコーラス 090-6332-8221 (佐藤)

♪RUSSIA de NIGHT ロシアでナイト!♪

日 時 2025年4月21日(月) 開場 18:30 開演 19:00  
会 場 としま区民センター 小ホール ◇JR各線「池袋」駅より徒歩7分  
出 演 後藤ミホコ(アコーディオン) 天野加代子、青野眞沙子(ともにメゾソプラノ)  
ゲスト:アレキサンダー・マリヒン(バイヤン)  
料 金 前売り 一般 3,500円(当日 4,000円) 高校生、大学生 3,000円(当日 3,500円)  
中学生以下 2,500円(当日 3,000円)  
申込み <https://www.mihoko-goto.jp/contact/> (後藤ミホコ・ホームページより)

♪東京バラライカ・アンサンブル 第14回定期演奏会♪

日 時 2025年4月26日(土) 開場 13:30 開演 14:00(予定)  
会 場 文教シビック 大ホール(新大久保) ◇東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」5番出口  
直結 都営三田線・大江戸線「春日」駅、文京シビックセンター連絡口直結  
《スペシャルゲスト》モスクワ・クアルテット  
ドムラ:アレクサンドル・ツィガンコフ バラライカ:ヴァレリー・ザジーギン  
グースリ:インナ・シェフチェンコ ピアノ:ラリーサ・ゴドリヴ  
演奏曲 指揮(吉岡弘行) 司会(いちのへ友里) ♪音楽的絵画「市場にて」 ♪ヴォカリーズ 他  
チケット/問合せ 東京バラライカ・アンサンブル事務局 [musica-lara@utopia.ocn.ne.jp](mailto:musica-lara@utopia.ocn.ne.jp)

♪音楽センター・アコーディオン科土曜教室発表会♪ ～4年ぶりに教室内発表を行います～ ◇入場無料

日 時 2025年5月24日(土) 16:30開会演  
会 場 音楽センター地下ホール(新大久保) ◇JR山手線「新大久保」より徒歩8分  
東京メトロ副都心線「東新宿」駅B3出口より徒歩7分  
演奏曲 ♪いつも何度でも ♪海に見える街 ♪タンゴ・ジェラシー ♪タンゴ・エル・チョコロ 他  
ゲスト演奏 ソプラノ(山田千賀子)  
問合せ 音楽センター教育部 03-3208-8377

♪鍵盤堂 池部アコーディオン教室よりお知らせ♪

イケベアコーディオン教室に「檜山学」クラス、待望の再開講! 2025年1月19日(日)「開講記念!アコーディオンワークショップ」が開催されました。  
問合せ イケベミュージックサロン TEL:03-3461-2269 検索⇒[イケベミュージックサロン](#)  
講 師 千葉 薫(入門・初級・中級) 杉山 卓(入門・初級・中級～上級)  
檜山 学(入門・初級～上級) ※3名体制になります。

■関東アコ 次回実行委員会 2025年2月11日(建国記念日)20:00～ web会議予定